

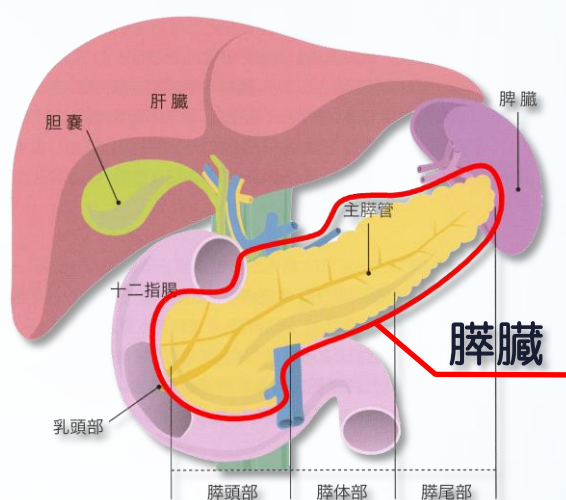
あなたの「膵臓」大丈夫？

膵臓がんは、消化器の癌の中で最も予後の悪い癌です。5年生存率でみると、胃がん、大腸がんは60%以上が助かりますが膵臓がんは10%しか助かりません。その理由は早期の膵臓がんは症状が出ないため早期に発見されにくいからです。

今回南風病院と地域の診療所が連携して膵臓がんを早期に発見するプロジェクトを始めました。

方法は表で示す膵臓がんの危険因子をお持ちの方に、かかりつけ医か、南風病院で積極的に腹部エコーを受けてもらい、異常が見かったら南風病院でMRIを受けていただくことになります。

危険因子をお持ちの方は、早めにかかりつけの先生にご相談下さい。



膵臓と周囲の臓器

膵臓がんの危険因子

以下の危険因子がみられる方は膵臓の検査を受けましょう。

- | | |
|--------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 喫煙 | <input type="checkbox"/> 大量飲酒 |
| <input type="checkbox"/> 糖尿病 | <input type="checkbox"/> 肥満 |
| <input type="checkbox"/> 慢性膵炎 | <input type="checkbox"/> 膵のう胞（膵臓の中のふくら） |
| <input type="checkbox"/> 主膵管拡張 | <input type="checkbox"/> 家族歴 |
| | （家族に膵臓がんの人がいる） |



膵臓がん早期発見プロジェクト（南風病院・診療所の連携による）

